

第9回 白川静漢字教育賞 小・中学生の部
優秀賞（漢字川柳部門）

「郷」

大宴 ごちそうかこむ 村仲間

(おうちだけごちそうかこむむらなかま)

千葉県 いすみ市立岬中学校 三年

久我 怜生さん

【成り立ち】

「郷」は、この「郷」の字は、人、土、邑、の部首で、郷の字の部首をなしている様子で、

「郷」は、この「郷」の字は、人、土、邑、の部首で、郷の字の部首をなしている様子で、

「郷」は、この「郷」の字は、人、土、邑、の部首で、郷の字の部首をなしている様子で、

【語評】

久我 怜生さんは、「郷」の成り立ちを的確に捉えて、川柳にしています。たたくん、の仲間、ごちそう、を楽しく語り、ごちそう、ごちそう、が目に浮かぶように、コロコロ、一列も早く終結し、こんなふうに、仲間と楽しく会いたい、という思いが、感じさせる作品でした。

「友」

じゃあまたね 重ねた手と手 願いこめ

(じゃあまたねかさねたてとてねがいこめ)

栃木県 小山市立小山城南小学校 五年

隈本 香凜さん

【成り立ち】

「友」は、「か」は、ように、重ねた手と手を二つ合わせた字で、仲良くかばい合う仲間という意味や、

「友」は、「か」は、ように、重ねた手と手を二つ合わせた字で、仲良くかばい合う仲間という意味や、

「友」は、「か」は、ように、重ねた手と手を二つ合わせた字で、仲良くかばい合う仲間という意味や、

【語評】

隈本 香凜さんは、「か」という漢字を取り上げました。互いに仲良さを感じ、また次の出会いを待ち望む、友とほんまもて、「か」という漢字を二つ合わせた様子で、友人と友人の感情と愛情、

友との別れ時に思いを込めた点にセンスを感じました。

「風」

龍が来た 風と戯れ 鳥が飛ぶ

(りゅうがきたかぜとたわむれとりがとび)

千葉県 いすみ市立岬中学校 三年

高野 波来さん

【成り立ち】

「風」は、この「風」の字は、風、土、邑、の部首で、風の字の部首をなしている様子で、

「風」は、この「風」の字は、風、土、邑、の部首で、風の字の部首をなしている様子で、

「風」は、この「風」の字は、風、土、邑、の部首で、風の字の部首をなしている様子で、

【語評】

高野 波来さんの作品は、龍、鳥、風、が活躍している様子や、風と戯れ、鳥が飛ぶ、という感じが伝わってきます。龍、鳥、風、が活躍している様子や、風と戯れ、鳥が飛ぶ、という感じが伝わってきます。

「愛」

心ひかれ ふりむいたんだ それが愛

(こころひかれふりむいたんだそれがあい)

京都府 立命館小学校 四年

山本 拓海さん

【成り立ち】

「愛」は、「心」は、心、土、邑、の部首で、愛の字の部首をなしている様子で、

「愛」は、「心」は、心、土、邑、の部首で、愛の字の部首をなしている様子で、

「愛」は、「心」は、心、土、邑、の部首で、愛の字の部首をなしている様子で、

【語評】

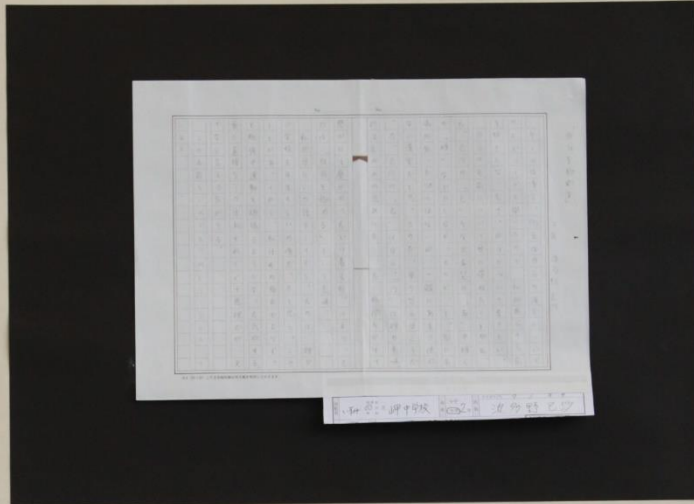
山本 拓海さんの作品は、友人や家族など、別れた後に、振り返って相手の様子や思いが伝わって、よく伝わり、まさしく心に響かせる手紙とさせる作品でした。

第9回 白川静漢字教育賞 小・中学生の部
優秀賞（漢字作文部門）

「自分を極める」

千葉県 いすみ市立岬中学校 二年

波多野 己沙さん



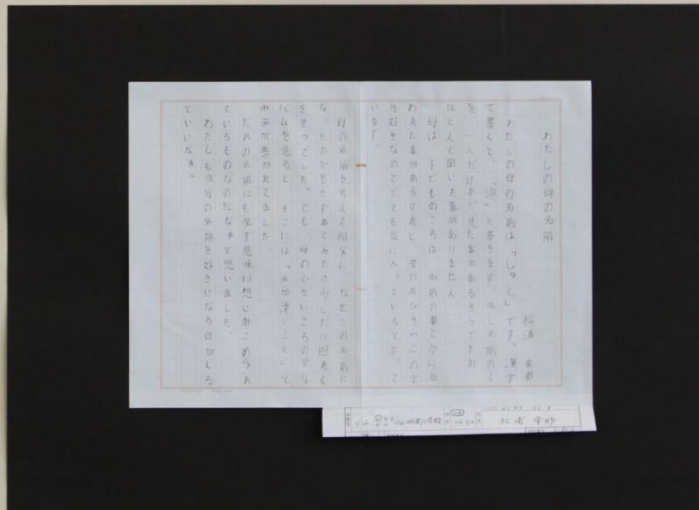
【講評】
自分の名前、たかが名前、されど名前です。みなさんは自分の名前の由来を調べたことばかり
ますか？名前は親からの愛のこぼれが詰まっています。私はこの作文を書いたことで、名前に書けな
うにもっとがんばらうと改めて思いました。

【講評】
波多野 己沙さんの作品は、自分の名前の由来や漢字の成り立ちを詳しく知ることによって、自分の名前
が両親からの初めての大きくプレゼントだと知った喜びと、名前のように「自分を極めよう」という強
い思いもまたこが意匠に伝わってくる作品でした。

「わたしの母の名前」

栃木県 小山市立小山城南小学校 五年

松浦 來那さん



【講評】
誰の名前にも必ず意味や想いがこめられているのと同じです。わたしも母のよに、自分の
名前(母名)が好きなように思っています。みなさんも自分の名前の由来を調べ
みませんか？新しい発見があるかもしれません。

【講評】
松浦 來那さんの作品は、家族それぞれの人柄や関係性が伝わってくる温かい作品でした。
気になって母の名前の由来が昔のアルパカからわかり、作者はそこ祖父の身ぶれる思いを感じ
ます。たった四字の作文の中にドラマを感じる作品でした。

作文の内容は、生文課 HP

「白川静漢字教育賞「小・中学生の部」の受賞作品を紹介します」

をご覧ください。

第9回 白川静漢字教育賞 小・中学生の部
優秀賞（自由部門）



【作品説明】
 漢字の由来や意味、そしてその文化背景について、子どもたちが独自の視点から表現しています。例えば、「春」の作品では、桜や緑の芽をモチーフに、季節の移り変わりを表現しています。また、「夜」の作品では、夜空の星や月を背景に、静寂な夜の情景を描いています。これらの作品は、漢字教育を通じて、子どもたちの創造力と表現力を伸ばすことに貢献しています。

昔の漢字の月めくり
 兵庫県 神戸市立明観小学校 五年
 山根 妃稀さん

作品の詳細は、生文課 HP
 「白川静漢字教育賞「小・中学生の部」の受賞作品を紹介します」
 でご覧ください。